

第1回足立区こども計画審議会でのご意見を集約①

資料 1

<p>子ども・若者の 取り組みに関すること</p>	<p>居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが自分自身で過ごし方を選択できるようになってほしい 自分のことを誰も知らない場所へ行きたいなど、子どもが選択できる居場所づくりが必要 <p>人格や生き方の尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> 大人が子どもを認める行動をすることが重要 	<p>子どもの参画や活躍の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 困難な状況下に置かれている当事者の意見を聞きながら進めてほしい 自分がやりたいことを発言・発信できる環境が整えられると良い 夢への後押しが必要という意見がある一方、夢を強要しないでほしいとの意見もあり、個々の対応が必要
<p>子育て家庭 に関すること</p>	<p>人格や生き方の尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもをもつということも選択肢のひとつであって、子どもを持ちたくないという考え方もある 独身世帯への行政による支援は何もない気がしており、不公平感がある <p>保護者への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者の相談で圧倒的に多いのは「将来の見通しが立たない」 切れ目なく、保護者が子育てを行うためには、保護者が何を求めているのか、保護者の視点が重要 保護者の不安に寄り添って一緒に子どもを育てていくしくみが必要 	<p>より困難な層への重点的な支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の先生が対応すると保護者が身構えてしまうことがあるため、プッシュ型やアウトリーチ型などの支援が必要 <p>生活基盤の安定支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 大人の貧困にも焦点を当てるという視点から、大人の環境を改良していくことも大切 子どもの貧困だけでなく、大人の貧困にも焦点を当てるべき <p>妊娠・出産・子育て環境の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 不妊治療中や流産された方へのセーフティーネットが不十分 多身世帯にも引き続き支援が必要
<p>地域における 協働や体制整備 に関すること</p>	<p>地域・団体等との協働・協創</p> <ul style="list-style-type: none"> もう少し地域を支える住民参加の視点をこども計画に入れられると良い 地域や支援団体が子どもの居場所を提供することで、親同士の交流や、ひとり親世帯への支援にもなる 地域の人とのつながりはとても大切だと考える。困っていることを言える環境は大切 子育てを家庭に押しつけるのではなく、地域で子どもの育ちを見守れる足立区になると良い 	<p>居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学や地域であまりお金をかけず、居場所を作っていく活動が少しずつ増えると良い 家庭や学校以外の居心地の良い「サードプレイス」の選択肢があると、子どもの自己肯定感に差が出る 子どもたちがお互いに関わり合いながら遊べる居場所があると良い <p>妊娠・出産・子育て環境の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 暑い日でも気軽に遊びに行ける場をさらに整備してほしい 不動産価格を理由に転出先を検討している都内住居者層に区の魅力をアピールすることで、転入につながれると良い

第1回足立区子ども計画審議会でのご意見を集約②

子ども・若者の 取り組みに関すること	高校中退・不登校等支援 <ul style="list-style-type: none">・ 貧困と不登校には関連性がある・ 高校生世代にもすぐに支援の届く体制づくりが重要・ 夏休みによって学校へのモチベーションが落ちてしまったり、友達とのSNSで、いじめられ、不登校になってしまう生徒もいる・ 生活保護世帯の中途退学者の割合が高い・ 中退した後の選択肢について、子どもや家庭が情報をもっておらず不安になることがある	より困難な層への重点的な支援 <ul style="list-style-type: none">・ これまでの貧困対策の効果により、貧困率は減っているが一定層は貧困状態にある・ 生活保護世帯は不登校や中途退学者の割合が高く、朝食を食べない子や、高校卒業時に進路が決まっていない人の割合が高い・ 生活が厳しい人や困難を抱える層を重点に支援することが大切	情報提供の工夫 <ul style="list-style-type: none">・ 足立区の事業の情報を利用者に届けることを重視してほしい・ 区の支援の内容や自分が対象であることを十分理解できない子どもや保護者もいるので、その人にも支援が届くしくみが必要
子育て家庭 に関すること	経験・体験機会の充実 <ul style="list-style-type: none">・ 自分がやりたいことを見つけることができる環境があると良い・ やりたいことを子ども自身で選択できるなど、主体性が尊重されている・ 職場体験ができる事業があると良い・ 多様な職業を体験できる環境を整え、選べる形にすることで、子どもの「やりたい」を応援する	伴走者・担い手の確保 <ul style="list-style-type: none">・ 若い人にとって自分の目標となる人が、身近にいることが一番の支えになる・ 子どもや保護者の伴走者として、シニアが良いのではないかな・ 地域の大人と多く交流することで、目標となる人を見つけることができるのではないかな	
地域における 協働や体制整備 に関すること	計画全般 に関すること <ul style="list-style-type: none">・ 国のこども大綱に引きずられず、足立区らしい計画にするため、これまでの議論の積み重ねを大事にした計画とするべき・ 「社会のための子ども」から「子どものための社会」への変化・ 子どもや家族、あるいは地域全体のウェルビーイングのために、これまで大切にしてきた子どもの貧困対策等のミッションを重視して取り組むべき・ 貧困対策と子ども若者育成支援と同じくらいに、足立区が選ばれるなどといった少子化対策に力を入れたほうが良い・ 足立区にずっと住み続けるという必要もないし、足立区だけが良い場所にならなくてもよい。東京都全体で少子化対策に取り組むことが重要		

2

ご意見をふまえた基本理念(案)につながる考え方

足立区こども計画

1

現在を生きる子ども・若者が、夢や希望をもつことができるよう、子どもの権利が尊重され、生まれ育った環境に関係なく、様々な人に出会いながら、経験・学び・居場所を自らが「**選べる**」支援を地域全体で推進

2

自由に子ども・若者の思いを表明できる環境において、夢や多様なチャンスに挑戦できるよう、生き抜く力を育みながら、「**未来**」に向かって「**選べる**」ことを応援する。
さらに、子どもの活力を原動力として、地域や足立区全体が成長するという好循環を生むことが期待できる

すべての子ども・若者が

未来へつながる環境や支援を
選ぶことができる足立区を
目指します

足立区基本構想(足立区基本計画)

将来像

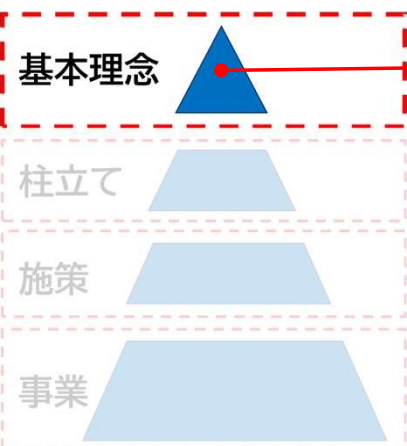
「協創力でつくる活力にあふれ進化し続ける
ひと・まち 足立」

基本的
方向性

「自己肯定感を持ち、笑顔で健やかな子ども
を育てる」

足立区こども計画は足立区基本構想の土台にもなる 3

基本理念(案)



足立の子ども・若者の**将来像**や**施策**や**事業**を実施していくための**基本的な方針**

※ 基本的には理念は1つを想定

案 ■ 生まれ育った環境に左右されことなく、子ども・若者が未来へつながる道を選ぶアダチをつくっていく

■ 「生まれ育った環境に左右されことなく、」

→全ての子ども・若者はもとより、より厳しい状況の子を支えていく姿勢（エクイティ）を示している（足立区らしさ）

→子どもの貧困対策に重きを置いた計画を示している

■ 「子ども・若者が」

→「全ての子ども・若者」を対象

→子ども・若者の人権・人格、意見を尊重

■ 「未来へつながる道を選ぶ」

→将来の選択肢の幅が広がるよう、様々な場面で選択できる

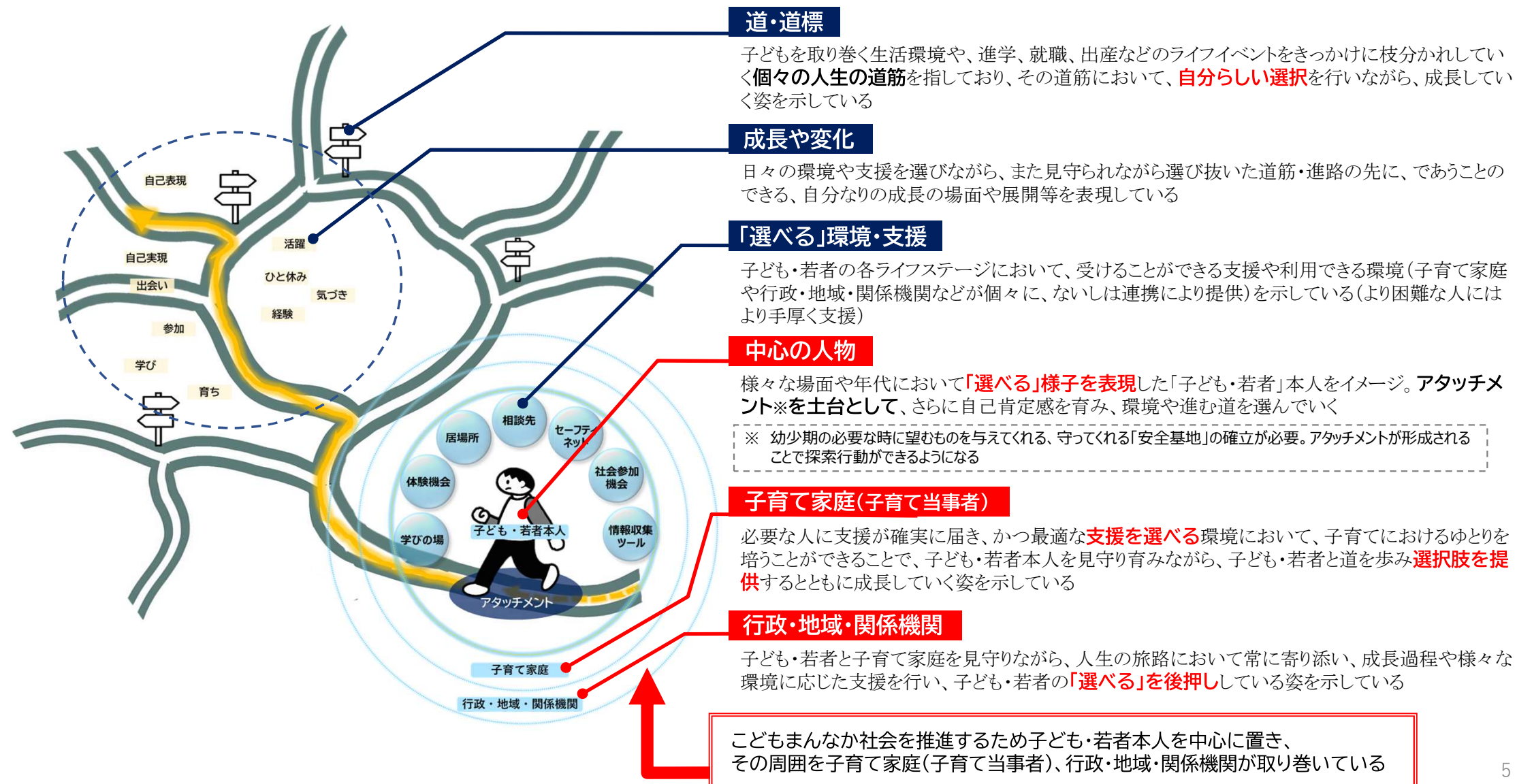
→人生や生活の分岐点において夢や希望を諦めることなくチャレンジできる

■ 「アダチ（をつくっていく）」

→区や地域との協働協創により支えていく仕組みをつくっていくという趣旨の計画とする

→様々な選択肢を用意する仕組みを「形づくる」という意味でひらがな（つくっていく）で表示

基本理念(案)のイメージ



計画策定に活かすための子ども・若者の意見 《子ども(小学生)編》

中山委員が代表を務めるNPO法人Chance For Allにご協力いただき、子どもたちに意見を聴きました。子どもたちが意見しやすくなるよう、パークリーダー(大学生ボランティア)を介して、聞き取りました。

11/6・8 西新井さかえ公園

12名から聴き取り

11/7 東綾瀬公園ハト広場

7名から聴き取り

対象者 小学1年生～5年生 ※当日に遊びに来ていた子どもたち

楽しいことや、幸せだなと感じることはなんですか？

- ・ ラグビーをやっている。きっかけは近所のお肉屋さん。中学生になっても続けたい
- ・ 学校が休みの日。学校に行きたくないわけではない
- ・ 母親から「大好き」と言ってくれること
- ・ 歴史が好きなので図書館に行くこと
- ・ 外食や給食よりも母親が作ってくれるごはんを食べるときが幸せ
- ・ 父親の勧めで入ったバスケットボール教室が楽しい
- ・ 運動会でみんなで玉入れしたのが楽しかった。一人でやるよりもみんなと協力して何かをやるのが楽しいと感じた
- ・ 読書が大好き。図書係になり、本を並べたり整理整頓するときに幸せ
- ・ 夜布団で寝る時が幸せ（自分の居心地が良い場所が家であるようなニュアンス）

嫌なことがあった経験はありますか？

- ・ 悪口を言ってくる同級生がいること。その同級生が公園に来たことがあったが、パークリーダーがいたおかげで悪口を言われなかった
- ・ 外出先で弟と喧嘩して警察沙汰になった。それが原因で親から出ていけと言われ家出したこと
- ・ 学校の習字。先生が嫌いだから
- ・ サッカーを習っていたときプレーで嫌な思いをしたが、母に相談して野球の道に進んだ。いまは野球が楽しい
- ・ 野球ができる場所がない。増やしてほしい

なぜここへ遊びに来たのですか？

- ・ パークリーダーがいるから。公園で遊ばないときはマンションのラウンジでお菓子を食べながらおしゃべりすることが楽しい
- ・ （パークリーダーの話）パークリーダーとの関わりが構築され、不満などを言うことで、第三の居場所となっていると思う
- ・ 公園にはほぼ毎日来ている。友達と遊ぶことが楽しい（1人でやることがない）

その他の意見

- ・ 小学1年生から英語を習っている兄が海外に行ってしまう。ついて行きたい。英語を使う仕事がしたい

第2回審議会後に小・中学生を対象にオンラインで意見聴取を実施予定

計画策定に活かすための子ども・若者の意見 《若者・高校生世代編》



8/4 第1回アダチ若者会議 公募型 12名参加

テーマ

夢の実現に「私たちはこれが必要だ」
ほか

対象者

足立区在住・在学・在勤・ゆかり
のある高校生世代

9/6 第2回アダチ若者会議 公募型 9名参加

テーマ

夢に向かってチャレンジしていくうえ
で必要な支援

対象者

足立区在住・在学・在勤・ゆかり
のある若者

9/25 若者会議 in 都立淵江高校 アウトリーチ型 13名参加

9/27 若者会議 in 都立青井高校 アウトリーチ型 9名参加

テーマ

夢の実現に「私たちはこれが必要だ」

実施中 若者の想いをカタチにし、足立の
未来へつなげる。アイデア大募集！ オンライン型

「選択」につながる意見が多かった

- ① 進学や職業選択の参考になる講義や講座に参加したい
- ② 夢の実現のために、まず夢を見つける手助けをしてほしい
- ③ 職業体験

選択肢を広げるために求めている支援

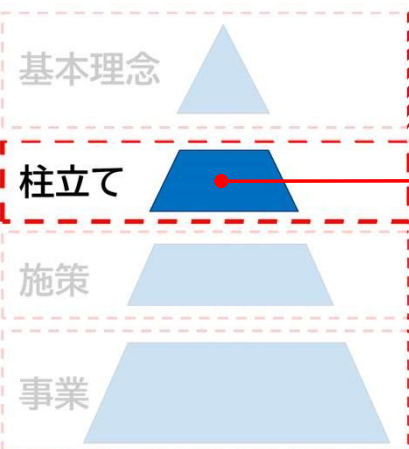
その他の意見

- ① 他の高校生や大学生、若者、地域たちとの交流を望んでいる
- ② 若者たちの居場所

高校などの狭いコミュニティだけでなくもっと広く関わりたい
(選択の幅を広げてほしい)

基本理念案をもとにした計画の「柱」(案)

資料 2



基本理念を実現するためには、

- 子ども・若者へ直接働きかけることはもとより、一番身近にいる保護者に対しても安心して子育てできる支援策を示すことが必要
- 地域等も子ども・若者の身近なロールモデルとして、子ども・若者、子育て当事者を支援する側としての協力が必要

基本理念を実現するために必要な要素として**3本の柱**に整理

柱1 すべての子ども・若者の
生き抜く力を育む
子ども・若者に関する取組

子どもの健やかな成長・生き抜く力を育む支援を切れ目なく、取りこぼさず行うとともに、それぞれの「やりたい」「なりたい」の実現に向けた後押しをする

柱2 安心して子育てを
楽しむことができる
子育て家庭(当事者)への支援

家庭の生活基盤が安定し、自立した生活を送るための確実に届く支援を行うと同時に、**楽しみながら安心して子育て**ができるために取り組む

柱3 区・地域・団体等が
協働・協創で支え合う
地域における協働や体制整備

地域や社会全体で子どもを見守り育てていくと同時に、**子どもを大切にする魅力ある足立区**として、成長できるように取り組む

3本の柱のもとで

- 現実的な支援
- 夢を後押しする支援

子どもの
貧困対策

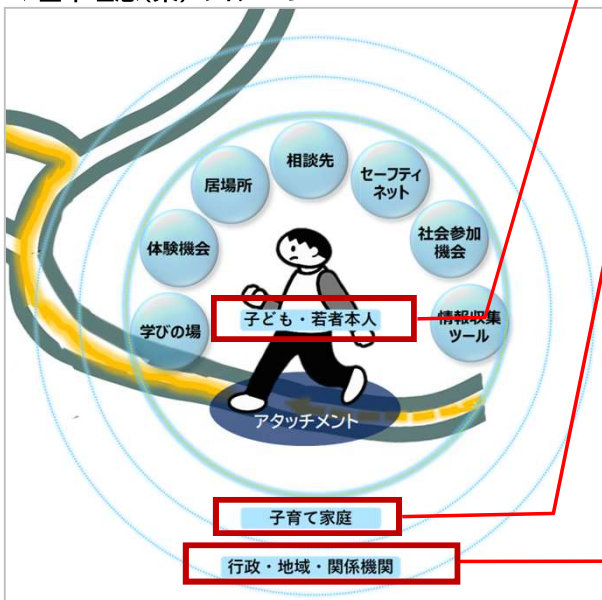
子ども・若者
育成支援

これらに関する施策をしっかりと取り組むことで、
子育て不安を少しでも取り除くことが

少子化
社会対策

にもつながっていく

▼基本理念(案)のイメージ



施策のイメージ

	各柱立てを実現するための手段 第3回審議会で検討予定		【参考】 第2期足立区子どもの貧困対策 実施計画の施策
	<div>柱1</div> <div>すべての子ども・ 若者の生き抜く 力を育む</div>	<ul style="list-style-type: none">	<ul style="list-style-type: none">学力定着・体力づくり学びの環境づくり子どもの居場所づくり子どもの経験・体験の充実若年者の自立支援
	<div>柱2</div> <div>安心して子育てを 楽しむことが できる</div>	<ul style="list-style-type: none">	<ul style="list-style-type: none">親子に対する養育支援子どもの発育支援保護者に対する生活支援
	<div>柱3</div> <div>区・地域・団体等が 協働・協創で 支え合う</div>	<ul style="list-style-type: none">	<ul style="list-style-type: none">切れ目のない支援子どもの貧困対策への理解促進進捗状況の管理地域や団体等との協働・協創